

## ～社会貢献へ福岡県知事を訪問～

福岡水道協同組合は、令和7年11月17日（月）、福岡県の服部誠太郎知事を表敬訪問し、水道工事などの現場や作業車にステッカーを活用した防犯活動などを実施し、工事地域の守り手として社会貢献する決意表明を行いました。

啓発ステッカー等で防犯活動  
福岡水道 協同組合 社会貢献へ知事に決意表明

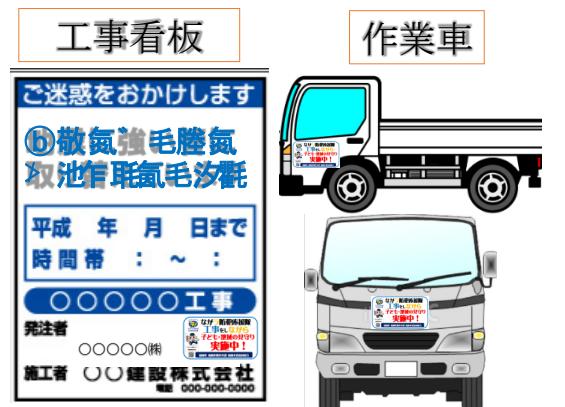
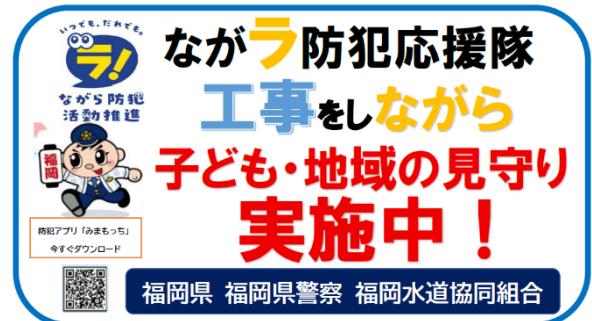


福岡水道協同組合（末永龍麻代表理事）は17日、福岡県の服部誠太郎知事を表敬訪問（写真）した。水道工事の現場や意を表明した。

作業車で啓発ステッカーを活用した防犯活動などを実施し、地域の守り手として社会に貢献する決意を表明した。

同組合は今年度、県が推進する「みんなで防犯応援隊」に登録しており、日常生活の中に防犯の視点を取り入れて周囲への目配りや子供たちの見守りなどを行う「ながら防犯」に取り組んでいる。県や県警と協同でオリジナルのステッカーを作成しており、工事現場の看板や作業車に掲示して啓発活動を行っている。また、現場や車両に設置しているAEDを工事関係者だけでなく、一般の急病者にも使用できるよう指導するなどして地域の安全安心に貢献している。

末永代表理事（龍設備工業）は「私たちは公共工事などで地域を巡回する機会が多く、地域の守り手として防犯意識を高める取り組みが自然にできる立場にある。防犯・防災・救命の三つを柱とした地域貢献のモデルを福岡から発信していく」と決意を述べ、服部知事は「地域の人びとの環境になってきていると感じる。こうした活動が住民の皆さん的安全安心につながるため、とてもありがたい」と応じ、感謝の意を示した。



九建日報新聞（令和7年11月19日掲載）